

第3学年 学級活動（保健）指導案

指導者 T 1 (学級担任)

T 2 (養護教諭)

1 題材名 性感染症

2 題材設定の理由

中学3年生になると、異性への興味・関心も高まり、一部の生徒には男女交際が活発になってくる者もいる。そんななかで、性に関する知識も不十分なまま一時的な感情で、性行為に走ってしまうことも懸念される。今、十代に急増している性感染症が中学生にも忍びよっており、性感染症についての正しい知識と蔓延防止に積極的に取り組む態度を養いたい。

3 本校の実態

2年生の3学期に「予防できる病気エイズ」の授業を行っており、エイズが性感染症の一つであることは理解している。しかし、エイズ以外の性感染症については、ほとんどの生徒が知識をもっていない。数名の男子生徒は、保健室の「みんなの図書コーナー」にある「性感染症」の図書を興味をもって見ているが、「クラミジア」や「淋病」については病名だけは知っている生徒もいた。その際は良い機会と捉えて、養護教諭が個別に指導を行っている。女子の中には同級生ばかりではなく、先輩と交際をしている生徒もみられることから、性感染症について科学的に正しい知識をもたせ、感染しないための予防方法と中学生としての男女交際のあり方を考えさせる必要がある。

4 ねらい

十代の若者に性感染症が増加していることを考えさせるとともに、性感染症の種類を知らせ、感染の防止に対する心構えや蔓延防止に積極的に取り組む態度を養う。

5 学習計画及び評価基準

月 日	過程	活動の場	活 動 内 容	評 価 規 準
2月上旬	事前	帰りの会	エイズの復習と性感染症の授業予告をし、生徒が疑問に思っていることなどを把握する。	エイズの復習をし、エイズ以外の性感染症についても関心をもち、説明を聞いたり資料を見たりすることで、自己の課題を見つけようとしている。 (関心・意欲・態度)
2月中	本時	学級活動	性感染症について正しい知識を得る。	性感染症の感染原因や予防方法について科学的に理解している。 (知識・理解) 安易な性行為の危険性を理解し、異性との望ましい交際のあり方を考えようとしている。 (思考・判断)
	事後	随 時	中学生としての男女交際のあり方と責任について深く考え、相手の人格を尊重できるようにする。必要に応じて個別に指導をする。	性感染症について正しく理解することで、今後の自分の性行動について慎重に考え、適切な判断や行動ができる。 (技能・表現)

6 本時の指導

(1) 目 標

性感染症の特徴と感染経路を知り、その予防方法が理解できる。

(2) 準備・資料

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| ① イエス・ノーカード | ② 性感染症の種類 | ③ 性感染症の動向グラフ |
| ④ ビデオ「性病の知識」 | ⑤ ワークシート | ⑥ 生徒用資料 |

(3) 展 開

学習活動・内容	教師の援助及び評価（評）		資 料
	T 1	T 2	
1 エイズについて復習をする。	・エイズの感染経路について質問し、カード使って「はい」「いいえ」を提示させながら復習をする。	・カードを配り、カードを使って回答できるように支援する。	イエスノーカード

<p>2 本時の課題を確かめる。</p> <p>性感染症の特徴と感染経路を知り、その予防方法を理解しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習の課題を明確にし、その解決のための意欲を高めさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間を回り、本時の課題が理解できるように助言する。 	
<p>3 性感染症の動向グラフを見て考える。</p> <p>(1) 若者に増えている。</p> <p>(2) 女性が多い。</p> <p>4 ビデオを見て、性感染症の感染原因から種類、予防方法までを学ぶ。</p> <p>5 映像の中の男女の行動と、性感染症が若者に増えている原因を考えさせ、話し合う。</p> <p>(1) 男女交際が活発</p> <p>(2) 性的な関係を持つ人が多い。</p> <p>(3) 予防の知識がない。</p> <p>6 性感染症の種類や特徴について養護教諭の説明を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 机間を回り、グラフの見方について個別に支援する。 性感染症とは、性行為で移る病気であることを確認する。 ワークシートに男女の行動や気持ちを書くことで、客観的に考えることができるようする。 意見を発表させ、板書する。 机間を回り、個別支援をする 	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代の異性間性交で感染者が著しく増加し、社会問題になっていることを知らせる。 机間を回り、男女の行動や気持ちを考えられるように支援する。 	<p>グラフ 「性感染症の動向」</p> <p>ビデオ 「性病の知識」</p> <p>ワークシート1. 2. 3記入</p>
<p>7 性感染症の予防方法について話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 性感染症は、性的接触によるものであることを確認しながら、予防の手立てを自分たちで考えさせたい。 中学生としての男女交際の在り方と責任について深く考えさせ、安易な関係は持たないように導く。 みんなの意見を板書する。 <p>(評) 感染原因や予防方法について科学的に理解できたか (知識・理解)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 性感染症の種類を掲示し、それらの特徴について説明をする。 症状が出ない性感染症があることを知らせ、安易な性行為の危険性を強調したい。 机間を回り、予防方法を真剣に考えられるように助言する。 	<p>資料 「性感染症の種類」</p> <p>ワークシート4記入</p>
<p>8 本時の学習を振り返り、自分の言葉で性感染症に対する行動のあり方をまとめると。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 性感染症について正しく理解することで、今後の自分の性行動について慎重に考えることができるように支援する。 心配や不安なことがあったら一人で悩まずに信頼できる大人の人に相談するよう促す。 <p>(評) 安易な性行為の危険性を理解し、異性との望ましい交際のあり方を考えようとしている。 (思考・判断)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導を行い、ワークシートへの記入ができるていない生徒へ助言をする。 	<p>ワークシート5記入</p>

7 事後指導への配慮事項

- 異性との交際をしている生徒達への個別指導を行い、望ましい交際のあり方を促す。
- 自分や相手を大切に考え、将来の人生設計も視野に入れた生き方ができるように支援していく。